

# 新年を迎えて

## 市長年頭あいさつ



明けましておめでとうございます。市民のみなさんにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、記録的な猛暑のうえ8月には大雨により雨竜川が氾濫するなど、これまでに経験したことのないような天候が続き、本市の基幹産業である農業は、水稲をはじめ多くの作物で生育や収量などに影響が生じました。しかしながら食味においてはどの農作物も例年同様大変良いものとなり、あらためて生産者や関係者のみなさんの常日頃からの努力に、心から敬意と感謝を申し上げます。

また、「フジ・シードル・チャレンジ2023」では、本市から応募した5種類のシードルすべてが入賞し、特に深川産りんごを100%使用した「ふかがわシードルドライ」は、最高位のトロフィー賞に輝きました。りんご生産者のみなさんをはじめ、シードル醸造に携わるみなさんのたゆまぬ努力が今回の受賞につながったものです。新年会ではぜひ美味しい「ふかがわシードル」で乾杯し、日本の味を堪能してください。

深川市政の舵取り役を担わせていただき間もなく1年が経過しますが、この間「ゼロカーボンシティふかがわ」宣言や、書かない窓口とおくやみ窓口の開設のほか、給食費の一部無償化を実施するなど、人にやさしい各種施策を進めてきました。

10月には、57年間の市政を支えた市役所旧庁舎から移転し、新庁舎での業務を開始するとともに、あわせて市の組織機構も一部見直し、より質の高い市民サービスの実現に向けて職員とともに全力で取り組んでおります。12月には、深川市、きたそらち農業協同組合、深川商工会議所、拓殖大学北海道短期大学の四者による包括連携協定を交わし、これまで以上に、この地域の大切な教育・文化の資源である大学を軸に、地域の課題解決や活性化、さらには大学の教育・研究の充実を図ってまいります。

今年には新たに、性的マイノリティである方々が人生のパートナーとして社会の中で自分らしく暮らしていくことを市として応援する「パートナーシップ宣誓制度」が3月からスタートします。また、深川駅前西側に建設予定の「まなぶ「ふれあう」つながる」まちの交流拠点」をコンセプトとした複合施設では、まちのにぎわいや、ひとの交流などに関するご意見も市民のみなさんからいただく中で設計を進めており、利便性向上やまちなかの活性化が図られる施設となるよう、着実に整備に向けて取り組んでまいります。

人口減少や少子高齢化、物価高騰や長引く景気低迷など、依然として様々な課題に直面しておりますが、みんなで支え合い助け合える居心地の良い一人にやさしいまち」の実現に向けて邁進してまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

最近印象に残ったことを申し上げますと、演出家弦巻啓太氏が出演者の人生を振り返って心に残る出来事を一つの芝居にまとめあげた、市民で創る創作劇「Flowers in the Window」を観劇しましたが、何気ない日常生活も演出により人々に感動を与えることに、あらためて気付かされました。私たち深川のまちにも自分では気付かないものが埋もれていて、自分には何気ないことでもほかから見れば高く評価されることもあると思いますし、そのような気づきを市民のみなさんと共有できる年にできればと考えています。

今年一年が市民のみなさんにとって、明るく幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

深川市長 田中昌幸

